

インビクタス／負けざる者たち (Invictus)

観賞日 2023年1月30日 上映時間 132分

【概要】

制作 2009年 アメリカ・南アフリカ共和国

原作 ジョン・カーリン

監督 クリント・イーストウッド

脚本 アンソニー・ペッカム

撮影 トム・スターン

音楽 カイル・イーストウッド、マイケル・ステイーヴンス

出演 モーガン・フリーマン (ネルソン・マンデラ)、マット・デイモン (フランソワ・ピナール)
トニー・キゴロギ (ジェイソン・シャバララ)



【あらすじ】

1990年2月、南アフリカ。アフリカ民族会議議長のネルソン・マンデラが27年ぶりに釈放される。4年後全人種による選挙が行われ、マンデラが同国で黒人初の大統領に選ばれる。就任早々、官邸職員を前に「差別、報復はしない」と話すマンデラ。マンデラは多民族の融和を第一とする「虹の国」構想を掲げる。そして仲間の反対を押し切り、アパルトヘイトの象徴となっていたスプリングボックス（愛称「ボカ」）の名称を残そうとする。1年後に迫ったラグビーW杯は同国で開催される。混乱した国内事情を反映して低迷する代表チーム。マンデラはボックスのキャプテン、フランソワ・ピナールを官邸に招き、ヒントを与え優勝を狙えと話す。黒人居住地で子供たちにラグビーを指導するボックスのメンバー。いよいよ始まるW杯。初戦の相手は強豪、オーストラリア。初戦を突破して国全体が「ワンチーム・ワンネイション」に盛り上がる。翌日マンデラが収監されていた独房を訪れたボックスのメンバーはマンデラの意志の強さを知る。その後も勝ち進むボックスはついに決勝戦に進出。相手は実力世界一のニュージーランド、オール・ブラックス。果たして勝負の行方は。

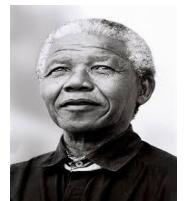
ラグビーで国を一つにまとめあげたマンデラとスプリングボックス。感動の実話の映画化。

【解説】

■ポイント

●ネルソン・マンデラ（1918年～2013年）

- ・アフリカ民族会議（ANC）に入党、アパルトヘイト抵抗運動を開始する。非暴力運動から武装闘争に方針転換。
- ・1962年逮捕され国家反逆罪で終身刑。27年の獄中生活を経て釈放。ANCの議長に就任。
- ・1993年デクラークとともにノーベル平和賞受賞。1994年第8代の大統領に就任（同国では初の黒人大統領）。1999年政界引退。



●南アフリカのラグビー

- ・ラグビーは19世紀イングランドのパブリックスクールが起源。その後、大英帝国の植民地（特に南半球）に広まる。
- ・同国の代表チーム名は「スプリングボックス」と呼ばれ、1995年にW杯初出場、初優勝を果たした。2019年、日本で開催されたワールドカップで優勝したのは記憶に新しい。

■見どころ

●W杯優勝に導いた、マンデラとピナールのリーダーシップ

●エンディング曲

ホルスト作曲の「ジュピター」につけた歌詞